

現代教養学部報

CHUO GAKUIN UNIVERSITY

平成30年7月1日発行

公正な社会観と倫理観をそなえた自立した個人の育成をめざし、現代を生き抜くための教養教育を通して、地域や社会、政治や経済との関わりの中にある自己を深く知り社会参画や社会貢献ができる市民を育成することを目的とする。

from 学部長

将来の夢を実現して行くためのサポート

学部長 佐藤 寛

現代教養学部は、教養教育や体験学習などを通じて、現代を生き抜く「教養」を身につけた「ジェネラリスト」を育て、現代社会の仕組みや問題を知り、よりよい社会に変えていくことのできる力を養うことを教育目標に掲げて、2017年4月に開講した新しい学部です。

今年で2年目を迎えましたが、幸い定員を超える新入生を迎えることができました。人口減少社会の中、日本全国の大学が入学者確保に苦慮している現在において、入学者定員を確保できましたことは、安堵する気持ちと同時に、学生たちから寄せられる現代教養学部への熱い期待に応えていく責任を日々痛感しております。

こうした期待に応えるため、現代教養学部の各教員は、“STAND BY YOU”の精神で、学生ひとり一人に寄り添い、現代教養学部で学ぶ、彼ら彼女らが思い描く将来の夢を実現して行くためのサポートをきめ細かく行っております。

また、4年間の充実した学びを提供し、社会に貢献できる能力(生きる力)を学生たちが身に付けることができるよう、学部の教員一同、研究、教育、社会貢献活動に積極的に取り組み、学部教育の質を向上させるための基盤づくりを行っております。

今年から、豊富な教育経験と高い研究業績をお持ちである、7名の先生方をお迎えすることができました。各先生方におかれては、教育目標の達成に向けた教養教育に、懇切丁寧に取り組んでいただき、高い教育成果が得られるであろうことを期待しております。



新任教員紹介

失敗を恐れず挑戦すること

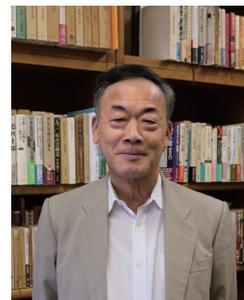
教授 金子 文夫

1. 主な担当科目: 経済と社会、経済の歴史、現代日本の社会と経済、現代アジアの社会と経済
2. 専門分野: 国際経済史
3. 現在の研究テーマ: 日本企業の海外進出
戦後日本経済が高度成長を遂げるなかで、海外に進出する企業が増えていきました。特に円の切り上げを契機に、何回かの海外投資ブームが生じました。1980年代までは、日本企業の海外進出と日本経済の成長は平行して進行しましたが、1990年代以降、日本経済がゼロ成長状態で停滞するなかで、企業の海外進出は一段と加速しました。この結果、海外進出企業と国民経済との間にズレが生まれ、国内の格差と貧困の問題が深刻になっていきました。このようなズレがなぜ生ま

れたのか、その原因を探るとともに、格差と貧困の問題をどのように解決していったらよいか、対応策を考えることが当面の研究課題です。

4. 学生へのメッセージ:

むずかしい課題にも失敗を恐れず挑戦することが、自分を成長させてくれるでしょう。



豊かな教養の上に、生きがいを見つける

教授 黒川 知文

- 1. 主な担当科目:** ユダヤ教の思想、キリスト教の思想、宗教学、現代社会と宗教
- 2. 専門分野:** 宗教史 西洋史
- 3. 現在の研究テーマ:** 世界史上における宗教運動の比較
「世界史上における宗教運動の比較」を長期的課題としています。平和を唱道する宗教が、戦争に対してどのように応答したのか。「太平洋戦争における神の国運動と無教会運動」について、現在、同時代史料に基づいて分析しています。今後は、太平洋戦争におけるホーリネス教会等のキリスト教応答に加えて、仏教の応答についても考察します。さらに、国際的視野から、第二次世界大戦中の、イギリス、米国、フランス、ドイツ、イタリア、ソ連のキリスト教会の対応をも分析していく予定です。同時に、これまでの研究の集大成として、

『ユダヤ人の歴史と思想』『神からの使命としての学問－M.ウェーバーとの出会い－』を著書として出版する予定です。

4. 学生へのメッセージ:

「富士山が高いのは、すそ野が広いから」豊かな教養の上に、生きがいを見つけるように。



文化から、現代に生きる知恵を学ぶ

教授 望月 哲男

- 1. 主な担当科目:** 文化学概論、比較文化論、スラヴの社会と文化
- 2. 専門分野:** ロシア文学
- 3. 現在の研究テーマ:** ロシア小説の時間構造
ドストエフスキーやトルストイの作品を読むと、常識とは違う時間感覚を経験します。ほんの一瞬がとても長く感じられたり、向かい合う二人の人が違う時間を生きていたりするような感覚です。これは私たちの日常にも起こりうる錯覚ですが、小説家はあえて主人公たちに非日常的な時間を体験させることで、日常の感覚の中で鈍化しているモラルや信仰の問題に、新しい光を当てようとしているのだと思います。そのような時間にかかわる表現の側面からロシア

小説の世界観の特徴やその文化的意味・機能を考えてみようというのが研究の狙いです。

4. 学生へのメッセージ:

いろいろな時代や場所に生まれた文化から、現代に生きる知恵を学びましょう。



一人で過ごす豊かな時間を大切に

教授 山田 麻有美

- 1. 主な担当科目:** 心理学概論、発達心理学、青年の心理
- 2. 専門分野:** 発達心理学
- 3. 現在の研究テーマ:** サイコドラマと高次脳機能障害
一つは、サイコドラマです。人間関係の調整や修復をめざす優れた心理療法のひとつですが、日本ではあまり知られていません。精神的なストレスを抱えている人が多い現代の日本に、サイコドラマを普及させていきたいと考えています。
二つめは、高次脳機能障害です。これは事故や病気で脳がダメージを受けて生じる後天性の脳の障害です。読み書きができない、人の話が理解できない、話をしようとしても言葉が出ない、簡単な足し算ができない、バスや電車の乗り方が分からないなど、社会生活に支障が出る当事者にはストレスの高い障害です。この障害の人が社会生活を取り戻すための方略を、高次脳機能障害になった人の行動や自らの障害について語る言葉を手がかりに研究しています。

4. 学生へのメッセージ:

友だちはいてもいいし、いなくても大丈夫。一人で過ごす豊かな時間を大切に!



- 1. 主な担当科目:** 生命科学、生命科学と技術、人間科学
- 2. 専門分野:** 人間工学、福祉情報工学
- 3. 現在の研究テーマ:** ヒューマンシステムデザイン

科学技術の進歩と共に、生活は豊かになりました。その反面で社会的弱者も生まれています。全ての人々が豊かに暮らすことができる社会を実現するため、生体特性を理解し、人間や社会に関わるあらゆるシステムのデザインを行っています。現在は、高齢者や障害者の社会進出が求められていることから、高齢者および障害者の生活支援を行っています。特に、高齢者の社会進出を目的とした生きがいを活用した多世代共生可能な居場所づくり、知覚認

知を考慮したカラーユニバーサルデザインモデルの構築をテーマに研究を進めています。今後も刻々と変化していく社会環境に柔軟に対応し、人が豊かに暮らせる社会の実現を目指します。

4. 学生へのメッセージ:

全てのものは夢から生まれた。夢を持ち、夢を実現できる知識とスキルを身につけよう。



- 1. 主な担当科目:** 社会学、ジェンダー論、現代社会論、男女共同参画論、ダイバーシティ論
- 2. 専門分野:** 社会学、ジェンダー研究
- 3. 現在の研究テーマ:** 日本のジェンダー平等政策としての男女共同参画政策、行政について、また、それを動かす政治家や市民の活動についての研究

日本は、先進国だと自らを位置づけているかもしれませんが、先進国として当然の価値である男女平等(ジェンダー平等)の点では、先進国では最低レベル、世界的にみてもかなり低いレベルに位置しています。このような残念な状況がずっと続いているのはどうしてなのか、社会学の立場からアプローチしています。最近、とくに、政府が策定する計画や、国会での法律の動き、そして、男

女平等を実現しようと努力している政治家、市民の活動を焦点として、研究を行っています。

4. 学生へのメッセージ:

自分自身を成長させるために、自覚的に、4年間を過ごしてください(そうできなかったで、失敗したなと思っています)。高校での勉強と大学での勉強の違いをできるだけ早く理解して、毎日を意義深く過ごしてほしいと思います。



- 1. 主な担当科目:** 健康スポーツ科学、スポーツとコーチング、スポーツ実践論
- 2. 専門分野:** スポーツ健康科学、コーチング、サッカー
- 3. 現在の研究テーマ:** パフォーマンス向上

スポーツパフォーマンスを向上させる要因は、体力的な側面、技術的な側面、戦術的な側面、心理的な側面等、多岐に渡ります。私は、様々な側面からスポーツパフォーマンス向上の要因を数値化し、コーチングに活かすことをテーマとしています。そして、近年では



ビジネスの世界においてもコーチングという言葉が耳にします。チーム(組織)は、人間関係の構築というものが非常に重要になり、その鍵の一つがコーチングです。

4. 学生へのメッセージ:

教養は1日にしてならず。歴史的なもの、そして今の時代に求められる教養を4年間で磨いてください。私も学生の皆さんから学ぶことがたくさんあります。共に成長しましょう!



ゼミナール紹介

河野 純一ゼミ

河野ゼミでは、都市の文化について、歴史、社会、生活文化、芸術などを総合的に見ていこうとしています。都市文化についての文献を読み、また、関連したテーマをそれぞれのゼミ生が選び、調べたこと

を発表するというも行っています。アットホームな雰囲気の中で、レジュメ作成によって文章作成の能力を養い、口頭発表によってプレゼンテーション能力を高めていくことを、目指しています。



林 健一ゼミ

林ゼミでは、地方公務員、NPO、社会貢献活動に関心の高い7名が参加しています。地域振興と恋をカラフルに描いた小説、有川浩著『県庁おもてなし課』を教材として、発表担当者が「お役所仕事と民間感覚」、「政策づくりに大切な視点」、「観光振興のために県が果たす役

割」等の課題発表を行い、試練の時間に汗(涙?) しています。今後、身近な地域を知るため、わがまち調査、ボランティア活動体験、市議会傍聴を計画しています。



藤堂 英樹ゼミ

藤堂ゼミでは、「映像から表現技術を学ぶ」をテーマに活動しています。みなさんが普段目に見ている映画やアニメ、テレビゲームの映像コンテンツを分析し、基本的な映像制作技術をソフトウェアで体験してい

きます。みなさんの興味に合わせて深掘りし、実際に触って楽しみながら学んでいけたらと思っています。ぜひ自分の中にある考えや思いを「カタチ」にしてみてください。



編集・発行

中央学院大学 現代教養学部報編集委員会

〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家451 TEL: 04-7182-1441